

## アトリエポポラ Atelier popola 前嶋 洋美さん

CAD製図を本業としながら、モルタルデコ®のマイスターの資格を取り2023年4月に「アトリエポポラ」として活動開始。「こころ庵」や「kokokara」などに来店し、作り方を教えたり、オリジナル作品を販売したりして、じわじわとファンを増やしている。2025年には「まちゼミ」にも挑戦し、精力的に活動の幅を広げている。

## 黙々とCADで図面を描く生活から、モルタルデコ®との 出会いでたくさんの人とのつながりができました

### 起業までの道のり

アトリエポポラとしてこの事業を始めたのは2023年4月です。初めは趣味としてモルタルデコ®をやりたいと思う程度でした。モルタルデコ®を考案した埼玉県原嶋早苗先生が、コロナ禍でオンラインレッスンを始めたのをきっかけにマイスター講座に挑戦しました。先生の作品の模倣をまず自分が作り、それを先生のところに送って可否の判断を受けました。1つ模倣をしたらテーマに沿った自分のオリジナル作品を1つ作り、合格をもらおうと次の課題に進めました。先生の模倣作品と自分のオリジナル作品、20個ほどの課題をクリアして教室の資格を取得しました。寝ていても考えてしまうほど頭を使いましたが、モルタルに向き合う時間がとても楽しくて、私は1年間で全部やり切りました。そして県内で4番目の先生となりました。

実際に起業したのは20年ほど前で、企業のCADを借りて自宅で建築図面作成を請け負うことを始めたときでした。ゼネコンの住宅会社に就職したことが発端で図面作成の楽しさを知り、起業後も建具メーカーなどから仕事の依頼を受けています。図面を描くのはすごく好きだったので、今もこの仕事は続けています。

### 起業して大変だったこと

初めは自宅で教室を開きたくてマイスターを取りました。実際に他人が家に入ってくることが不安になったことと、プライベートをどう確保するかということで、2〜3回教室を開いてみた時点でちょっと難しいと判断しました。2世帯住宅で、夫の両親も快く協力してくれていたのですが、教室を開くたびに申し訳なく、ずっと続けるのはお互い負担になると感じて場所の確保が課題になりました。でも場所がないと言い続けたら協力してくれる人が現れて、「古民家ギャラリーこころ庵」を借りられることになりました。「こ



ころ庵」は日曜日だけ開くギャラリーで、月に2回ほど借りています。平日の利用も考えていることや、3月に「こころ庵」で「まちゼミ」に挑戦したいという意思を話したところ、今後の平日利用を許可してくれました。1年間のお付き合いの中で信用してもらえたことがとても嬉しかったです。これまで平日は月に2回「kokokara」を利用していました。平日「こころ庵」を使えるようになるのでこちらは卒業しようと思っていたのですが、電車で来てくれる人や歩いてきてくれる高齢の人もいて、まだ需要があるようです。他にも「ひよりガーデン」という「ゆるびく村」のガーデニングショップが興味を持ってきて、先日初めて出張レッスンを行いました。今後は場所など自分で決めたルールに囚われず、需要があれば動ける体制で柔軟にレッスンを増やしていきたいです。

また、本業との割合が自分の中では課題の一つです。家での製図の仕事は1人で黙々と根を詰めて行う作業で、教室とは対極にあります。モルタルデコ®の生徒さんがもっと増えて収入が安定すれば、割合を逆転させていきたい気持ちもあります。女性起業セミナーを受講して、みなさんいろいろな課題を抱えていることを知りました。やりたいことだけをやっている人はやはり少なくて、それでもがんばってい

る様子がとても励みになり元気をもらいました。

### 起業してよかったこと

今は子育てが一段落して、休日に行うモルタルデコ®のイベント出店では夫が什器を作ってくれたり、テントを張りに来てくれたりや助けてもらっています。20年間子育て中心で家にこもって製図だけをしていた時は、依頼図面を作成後にデータを送信して納品完了…、人とのつながりは企業の担当者との電話やメールのやり取りのみでした。でもモルタルデコ®では、自分が一からデザインして作り上げたものをお客さまに自分で引き渡せたり、実際にかわいく仕上がった作品を見て「自分も作りたい」と言ってもらえる喜びは大きいです。この事業を通して対面での人とのつながりができました。「kokokara」やマルシェの出店者同士のつながりと、お客さんとのつながりと。特に出店者仲間には協力してもらったり、情報をもったりしています。エフドアに行ってみるといいとアドバイスをくれたのも、そういう仲間たちでした。

### これからの夢や目標

作家として作品も作りながら教室や店舗を持ち運営していくことが理想ではありますが、大きな目標に一直線に向かっていくより、今は目の前の課題に一步一步取り組んでいくのがいいのかなと感じています。そこまでたどり着



くにはもう少し修業が必要で、もっと自分のオリジナル作品を増やしていきたいです。先生に習ったものは教えることはできても売ることはできません。自分のオリジナル作品だけを販売できます。マルシェでは教室の案内チラシを必ず渡すようにしています。SNSの発信だけでは限界があると感じていて、今後も必要に応じてイベント出店し、対面での教室の売り込みに積極的に取り組みたいです。実際にはとても軽いものだから、庭に置きっぱなし、雨ざらしでもいいのだということもSNSではなかなか伝わりません。コンクリートとかセメントというと女性はちょっと身構えてしまいがちですが、実際にお話していくと興味を持ててもらえます。作家か先生かと考えた時、まだ今は先生として、師匠の力も借りながら頑張ろうと思っています。まずは「まちゼミ」に何度か出てみて、いつかは「こころ庵」といえばモルタルデコ®のところね…と言われるようにしたいです。県内では私が最も西の教室になるので、このエリアで習い事としてモルタル造形が広まり、ガーデニングクラフトの一つとして、庭を楽しむアイテムを手づくりすることの楽しさを広めたいです。そして、藤枝市内の素敵な庭のあるお宅にはモルタルデコ®があり！と、なっていったら嬉しいです。

### エフドアをこれから利用する人へ

いよいよモルタルデコ®のマイスターを取得できそうなタイミングで、ふらっとエフドアを訪問して話を聞いてもらいました。その際に女性起業セミナーを紹介され、申し込んだことが大きな一歩になりました。家族や友達に夢を語っているうちはいろいろ言い訳ができます。でもセミナーに参加したり、エフドアで「私はこれをやる」と宣言したりして覚悟が決まりました。産業祭に出店してみてもっとがんばろうと思ったり、公に出て行くほどライバルも意識したりします。なのでこれからも覚悟を決めた時には相談に行きます。本気で向かい合えばきっといいアドバイスをもらえるので、前に進んでいく強い味方になると思います。想いを実現していく方法が全く分からなくても、エフドアに相談すれば何かしらヒントが得られると思います。

アトリエポポラ  
Atelier popola

住所 藤枝市大新島

HP <https://atelier-popola-web.jimdosite.com/>

Instagram [https://www.instagram.com/atelier\\_popola/](https://www.instagram.com/atelier_popola/)



HP



Instagram